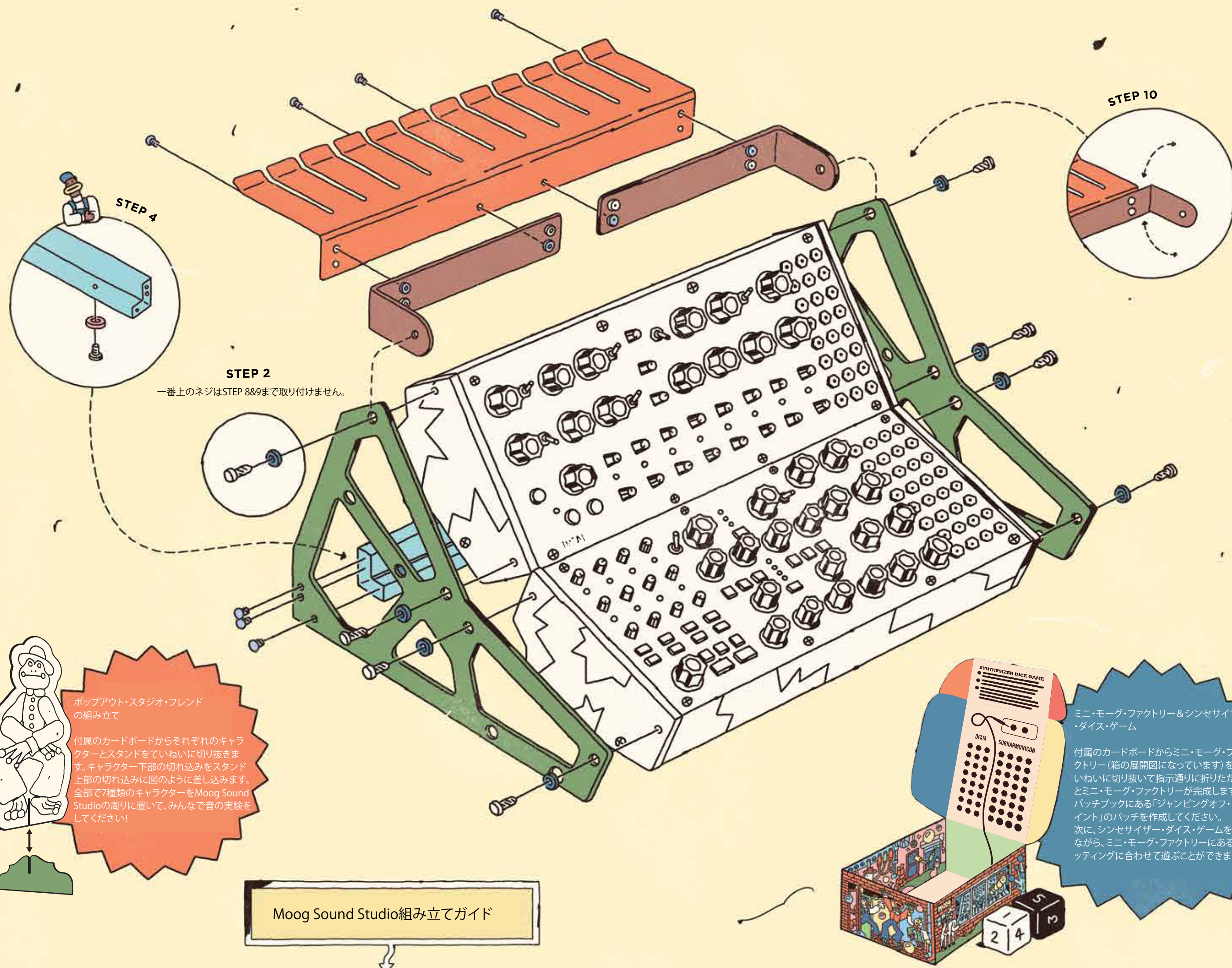
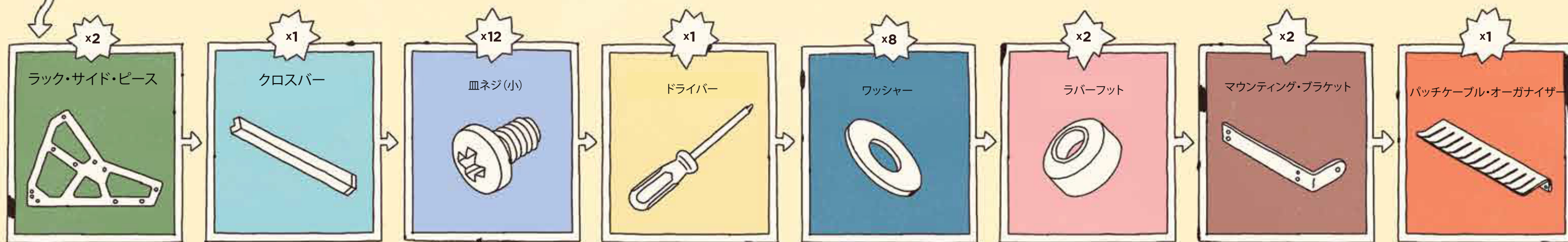


DFAM & SUBHARMONICON ASSEMBLY INSTRUCTIONS

HAVE QUESTIONS?
VISIT US AT WWW.MOOGMUSIC.COM
AND WE'LL BE HERE FOR YOU.

アッセンブリーキットには下の部品が含まれます。



STEP 2
一番上のネジはSTEP 8&9まで取り付けません。

ポップアウト・スタジオ・フレンド
の組み立て

付属のカードボードからそれぞれのキャラクターとスタンドをていねいに切り抜きます。キャラクター下部の切れ込みをスタンド上部の切れ込みに図のように差し込みます。全部で7種類のキャラクターをMoog Sound Studioの周りに置いて、みんなで音の実験をしてください!

Moog Sound Studio組み立てガイド

ミニ・モーク・ファクトリー&シンセサイザー
・ダイス・ゲーム

付属のカードボードからミニ・モーク・ファクトリー(箱の展開図になっています)をていねいに切り抜いて指示通りに折りたたむとミニ・モーク・ファクトリーが完成します。パッチブックにある「ジャンピングオフ・ポイント」のパッチを作成してください。次に、シンセサイザー・ダイス・ゲームをしながら、ミニ・モーク・ファクトリーにあるセッティングに合わせて遊ぶことができます。

すべてのネジは、最初はゆるく締めるだけにしておき、最後にしっかり締めましょう。

- STEP 1** | DFAMとSubharmonic本体のフロントパネルの両端のサイドウッドにある大きなネジを取り外します。取り外した8本のネジそれぞれにワッシャーを取り付け、一旦置いておきます。
NOTE: 下側の2本のネジは取り外しません。
- STEP 2** | DFAMとSubharmonicの左側面を上にして立てます。この時、DFAMが上になるようにしてください。ステップ1のネジとワッシャー3本で2台をラック・サイド・ピースに取り付けます。この時点では、DFAMのフロントパネルの上端にはネジを取り付けません。
- STEP 3** | 今度は、DFAMとSubharmonicのセットを、右側を上にして立てます。ステップ1のネジとワッシャー3本で2台をラック・サイド・ピースに取り付けます。この時点では、DFAMのフロントパネルの上端にはネジを取り付けません。
- STEP 4** | 小さいネジ2本でクロスバーの底面にラバーフットを取り付けます(底面には各サイドに1つずつネジ穴があります)。

- STEP 5** | 小さいネジ3本でクロスバーを左側のラック・サイド・ピースに取り付けます。同じように、右側のラック・サイド・ピースも取り付けます。
- STEP 6** | 1つ目のマウンティング・ブラケットをパッチケーブル・オーガナイザーに小さいネジ2本で取り付けます。外側のネジはパッチケーブル・オーガナイザーの上側のネジ穴に、内側のネジは下側のネジ穴に通して、対角線状のパターンにします。マウンティング・ブラケットのフランジ(先端が丸くなっている張り出し部分)が外側になるようにしてください。
- STEP 7** | ステップ6の作業を繰り返して、もう1つのマウンティング・ブラケットをパッチケーブル・オーガナイザーに取り付けます。
- STEP 8** | ステップ1で取り外したネジの残りの2本のうちの1本を取り付けます。このネジは、ワッシャー、マウンティング・ブラケット、ラック・サイド・ピースを通して、ステップ1で取り外したネジ穴に入ります。
- STEP 9** | ステップ8と同じ作業を反対側でも行います。
- STEP 10** | パッチケーブル・オーガナイザーの向きは、使いやすいように変えることができます。最後に、すべてのネジをしっかりと締めて、Moog Sound Studioの完成です。
NOTE: パッチケーブル・オーガナイザーは、スタジオの壁や機の側面などに直接取り付けすることもできます。

SETUP & CONNECTIONS

商品を使用する前に、Subharmonic、DFAMの取扱説明書の注意書きをご確認ください。それぞれの商品を正しい電源へ接続する前に商品はテーブルなどの平面で使用してください。1/4"標準ケーブル x 2が必要となります。(同梱されています) また、パワードのスピーカーがヘッドホン、1/8"標準ミニケーブル x 2 (含まれていません) が必要となります。



POWER

電源
TIP: Moog Sound Studioに付属のサミング・ミキサーは、12V 3.0Aのパワーサプライとして機能し、バレル・タイプのコネクターを3つ装備し、DFAM、Subharmonicと、もう1台Moogセミモジュラー・シンセサイザーに電源供給できます。DFAM、Subharmonicにそれぞれ付属の12V 1200mAのパワーサプライは、それぞれを単体で使用するとき接続してください。

1A
12V 3.0Aのパワーサプライを、サミング・ミキサーのINジャックに接続します。
警告: パワーサプライをTHRUジャックに接続するとミキサーが破損するおそれがあります。12V 3.0Aパワーサプライは、必ずミキサーのINジャックに接続してください。

2A
次に、バレル・タイプのコネクター・ケーブルをDFAMの電源コネクターに接続し、もう一方のコネクターをサミング・ミキサーのTHRUジャックに接続します。

3A
ステップ2Aと同じことをSubharmonicでも行います。

4A
パワーサプライをコンセントに接続します。接続すると、サミング・ミキサー、Subharmonic、DFAMのLEDが点灯し、電源が入ったことを表示します。

NOTE: DFAM、Subharmonic、サミング・ミキサーには電源スイッチがありません。電源が入ったパワーサプライに接続すると、各機器の電源が入ります。なお、アナログ・シンセサイザーは、チューニングを安定させるために電源を入れてから数分はウォーミングアップが必要です。

AUDIO

オーディオ
TIP: DFAM、Subharmonic、サミング・ミキサーのVOLUMEノブは、ゼロにしておきます。

1B
楽器用ケーブル (TS: 6.3mm標準プラグ) をDFAMのAUDIO OUTジャックに接続します。ケーブルのもう一方のプラグは、サミング・ミキサーのインプット・ジャックに接続します。

2B
ステップ1Bと同じことをSubharmonicにも行います。

3B
サミング・ミキサーのアウトプットをアンプ内蔵スピーカーやモニター・システム、またはヘッドフォンに接続します。

4B
最初にサミング・ミキサーのVOLUMEを上げてから、SubharmonicとDFAMのVOLUMEを上げて、聴きやすいバランスにします。

注意: ここでのオーディオの接続にTRS (バランス) ケーブルは使用しないでください。位相の干渉が生じて、音量が極端に小さくなる場合があります。

MIXER

ミキサー
サミング・ミキサーは、Moog Sound Studioに欠かせないパートです。この多チャンネルミキサー兼パワー・ディストリビューション・モジュールでDFAMとMother-32のオーディオ出力を1つにまとめて、ヘッドフォンやアンプ等にオーディオ信号を送ります。また、サミング・ミキサーは、DFAMやSubharmonicに電源を供給する役割も担っています。THRUジャックを使用して、もう1台のMoogセミモジュラー・シンセサイザーに電源を供給できます。

サミング・ミキサーには、4つの6.3mm標準ジャックのオーディオ・インプットがあります。内部スイッチでチャンネル1と2を1つのステレオ・チャンネル(A)にし、チャンネル3と4をステレオ・チャンネル(B)にすることができます。

TIP: クリップは、上図のようにサミング・ミキサーをクロスバーに固定するために使用します。このクリップを前に引き出して、サミング・ミキサーを机などの平面に設置させることもできます。